

生田緑地自然環境保全管理会議ニュースレター

■議事概要

◇日時：令和4年4月20日（水）及び 27日（水）

※今回は令和4年度ナラ枯れ対応進捗状況について、現地確認しながらの意見交換を2日間に渡り行いました。

◇場所：〈20日〉 市民活動室 現地確認ルート：整備事務所－枳形山展望台－東口入口

〈27日〉 現地確認ルート：伝統工芸館－奥の池－青少年科学館裏－野鳥の森－おし沼広場
東口ビジターセンター2階

◇参加：〈20日〉13名 〈27日〉10名 ◇議題：1.令和4年度新会長の互選

2.令和4年度ナラ枯れ対応進捗状況 現地確認

1.令和4年度新会長の互選

令和4年度の新会長として、明治大学倉本宣先生が自然環境保全管理会議の構成員の互選により選出されました。

2.令和4年度ナラ枯れ対応進捗状況

本協議は、今年度の川崎市発注業務において手戻りをなくすべく、安全確保と植生の両輪を考慮して実施するための議論であることを確認し進め、以下の点を合議しました。

●優先順位に基づき危険木（枯木）を伐採する。

●着手前に、管理している団体と現地確認（どこからどの方向で切るか、存置場所など）を行う。存置場所については図面上だけでなく、予め現地に場所を指定する。

要立会い場所：東口-枳形山へ向かう1つ目の四阿周辺、奥の池-梅園に向かう斜面、科学館裏、客車北側斜面、工芸館から奥の池へ向かう木道下部の西側斜面

●枯損木の伐採のみならず、樹林地の再生・整備の実施も含まれているので、川崎市は今後具体的な計画を提示する。

●科学館裏の伐採について、8月末から9月（現状予定は8月28日～9月2日）まで科学館で燻蒸作業があるためスケジュールの見直しをする。

●業者に対し、生田緑地での作業が他の公園とは異なり植生への配慮が厳重であることを認識してもらう為、特記仕様書内に記す。

●来年度以降のナラ枯れ処理のために、自然会議として今年度中に提言書を提出することを目指す。

意見など

・直ぐに植生管理計画の全体を見直すことは出来ないが、植生管理計画そのものの考え方を含めて考え直す必要もあると思う。今年度中にどのような計画にするか方向性を決めたい。コナラをどの程度守るかも考え、生田緑地の未来をどのようにするか説明が出来るようにしていきたい。

・場所によっては単体での伐採ではなく、小面積での皆伐更新、カントリーヘッジにより伐採木を存置する方法も検討してはどうだろうか。

・利用の観点では、薪として売る等、経営面も考慮したプロジェクトを立ち上げることが望ましい。

